

平成29・30年度 大島地区研究協力校「教科指導（国語）」
伊仙町立犬田布小学校 公開研究会

平成31年1月25日（金）

子ども自ら考えを高め合い、「分かった」「できた」を実感できる国語科の授業の創造

研究主題設定の理由

【時代の要請】	【大島の教育pamphlet】 授業充実の3ポイント
【子どもの実態】	【教師の授業づくりの課題】

国語科の授業改善の必要性

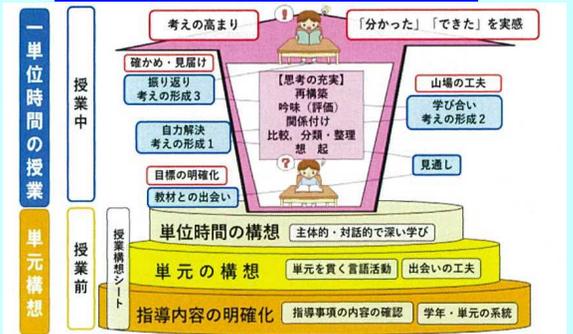
子ども自ら考えを高め合い、「分かった」「できた」を実感できる国語科の授業の創造

目指す子ども像

- 課題解決に向けて、意欲をもち粘り強く取り組む子ども
- 友達と考えを伝え合った結果を基に、新たな自分の考えを創り出す子ども
- 「分かる」「できる」喜びを実感し、次の学習やその後の生活への意欲をもつ子ども



研究構想図



研究内容

【研究内容Ⅰ】

子どもの意欲を喚起し、学びを実感できる単元構成の工夫

調べる	まとめる・広げる
<p>意欲を喚起する導入の工夫と目標の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びの過程を振り返る学習計画表の活用 ・ 単元の解決課題につながるめあての設定 <p>山場（学び合い）の手立ての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人調べでの手立て ・ 教師の指示と個に応じた支援 <p>確かめ見届け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだ結果の言語化・視点に基づく振り返り 	<p>単元の各過程における重点</p>



学習計画表の活用
めあての解決への読み取り

【研究内容Ⅱ】

子どもが主体的・対話的に学び考えを高める授業づくり

授業充実の3ポイントの機能化を図るための手立て

【目的】めあてを解決するため

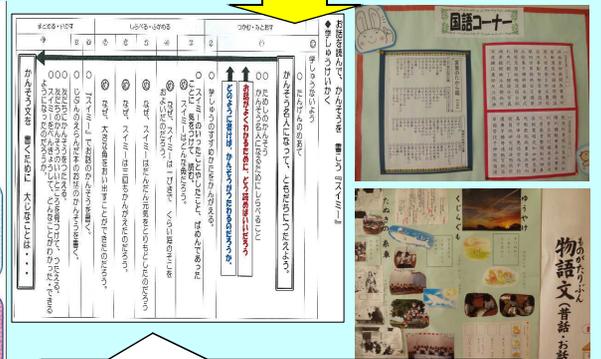
【方法】考えを比べ（比較）一つにまとめる



個→グループ→全体での活動の流れ

【研究内容Ⅲ】

子どもの考えを高める言語環境の充実



学習計画表や学びの足跡



ICT機器の活用
相関関係図の作成

全体会の様子



分科会の様子



参加者からの意見や感想

【全体会について】

- 研究発表では、研究内容や授業構想と本時の見所について分かりやすい説明があり、視点をもって、その後の公開授業参観、授業研究会に参加することができた。

【公開授業について】

- 一斉学習での叙述の取り扱いや、全体学習での共有の仕方など、勉強になることばかりだった。
- 単元のねらいを理解させるための手立てや工夫が随所に見られる研究だった。
- グループ学習のよさをみて実感することができた。自分の授業には是非取り入れてみたい。
- 単元に入る前の事前準備などの重要性、大切さを改めて学ぶことができた。
- 6年生では電子黒板、4年生では全文表、1年生では色別カードなど、学年の発達段階に合わせてよりよい言語活動に導くための手立てが見られてよかった。学び合いの際も目的と方法が丁寧に指示されていた。
- 学習計画表を用いることによって、見通しをもたせているため、導入もシンプルに進み、活動する時間がしっかり確保されていた。

